


松崎茂徳様

ヘルパーより紹介します




松崎様は若い頃、自動車保険業の仕事をされていました。売り上げ成績はいつも上位になるほど一生懸命に働いていました。

趣味は草花を育てたり手入れをすることで、仕事に出かける前に手入れを行い、ご自宅の庭は草花を綺麗に咲かせた公園のように整えられていたようです。また、親切で社交的な性格だったため、近所の人達を自分の車に乗せて観光に出かけるなど面倒見の良い人でした。

筑波キングスガーデンの特養に入所されてからは、眼そうなど様子の時もありますが、食事を自分で召し上がったり、坂東市の事をお話すると答えて下さるなど、ヘルパーとの会話も楽しまれております。

最近では、ご自分で歩行器を使いヘルパーが付き添って歩いてトイレに行かれるようになり、特養での生活に慣れてきたように感じます。今後も松崎様が穏やかに過ごせるよう職員一同願っております。



(NO.361)
特別養護老人ホーム
筑波キングス・ガーデン
0297(24)5139



「大きなスイカだね～」



見事な一撃！！

七月三十一日 水にすいか割りを行いました。始めにみかんの花咲く丘、我は海の子を歌い、皆さん機かしく感じてもらい、手拍子しながら歌っておられるご利用者もいらつやいました。すいかをご覧になられたご利用者は大さきいな、冷たいな」と、とても驚かれていらつやいました。ご利用者にすいか割りに挑戦していただいた際に、周りで見ていたご利用者も、右、左」とすいかの位置を熱心に教えて下さり、すいか割れた時には、大きな歓声が上がりました。

その後は、割ったすいかをご利用の方々へ召し上がっていただき、美味しい、甘い、おかわり」と喜んでいらつやいました。

ご利用の方々にとっても楽しんでいただき、すいか割りを行うことができました。

われらの力であられる神に喜び歌え。

詩篇八十一編 一節

すいか割り

担当ヘルパー 野田隆斗

七月十五日 十六日 西日本地域に降り続いた豪雨は決壊も加わり、想定外の大きな被害を地域に与え、今もその悲しみは続いています。十日経った現在、死者二百十八人、不明者十四名、この猛暑の中、活動している自衛隊、消防隊、ボランティアさんの姿には只々折る思いです。東日本震災、熊本、常総市と大きな災害が続き、美しい日本の地形が住む人の命を奪っている現状に立ち凍むばかりです。急いで広島にある貝ベタニアホームに電話状況と幸い水害から守られ、施設長さんと連絡が取れ本日に安堵しました。同時に三年前の鬼怒川水害が思い出され、多くの人に支えられ、現在があることに感謝します。今、私たちに出来る事は少しいですが、い何があってもお互いに助け合えるシステム作りは構築しておかなければと思います。これから猛暑が続くと思いますが、ご利用者さんにも働くスタッフも体調を崩さないよう環境を整えていきたいと思ひます。面会時、何かお気づきの点がありましたら職員にお声かけてください。


理事 長兼総合施設長 宇都宮和子

七月十五日 十六日 西日本地域に降り続いた豪雨は決壊も加わり、想定外の大きな被害を地域に与え、今もその悲しみは続いています。十日経った現在、死者二百十八人、不明者十四名、この猛暑の中、活動している自衛隊、消防隊、ボランティアさんの姿には只々折る思いです。東日本震災、熊本、常総市と大きな災害が続き、美しい日本の地形が住む人の命を奪っている現状に立ち凍むばかりです。急いで広島にある貝ベタニアホームに電話状況と幸い水害から守られ、施設長さんと連絡が取れ本日に安堵しました。同時に三年前の鬼怒川水害が思い出され、多くの人に支えられ、現在があることに感謝します。今、私たちに出来る事は少しいですが、い何があってもお互いに助け合えるシステム作りは構築しておかなければと思います。これから猛暑が続くと思いますが、ご利用者さんにも働くスタッフも体調を崩さないよう環境を整えていきたいと思ひます。面会時、何かお気づきの点がありましたら職員にお声かけてください。

理事 長兼総合施設長 宇都宮和子

七月十五日 十六日 西日本地域に降り続いた豪雨は決壊も加わり、想定外の大きな被害を地域に与え、今もその悲しみは続いています。十日経った現在、死者二百十八人、不明者十四名、この猛暑の中、活動している自衛隊、消防隊、ボランティアさんの姿には只々折る思いです。東日本震災、熊本、常総市と大きな災害が続き、美しい日本の地形が住む人の命を奪っている現状に立ち凍むばかりです。急いで広島にある貝ベタニアホームに電話状況と幸い水害から守られ、施設長さんと連絡が取れ本日に安堵しました。同時に三年前の鬼怒川水害が思い出され、多くの人に支えられ、現在があることに感謝します。今、私たちに出来る事は少しいですが、い何があってもお互いに助け合えるシステム作りは構築しておかなければと思います。これから猛暑が続くと思いますが、ご利用者さんにも働くスタッフも体調を崩さないよう環境を整えていきたいと思ひます。面会時、何かお気づきの点がありましたら職員にお声かけてください。

理事 長兼総合施設長 宇都宮和子



豊かな秋の訪れ

個別ケアの取り組み

施設長 小川内秀樹

息をつかせない程の今夏の暑さの中、稲穂が、ほんのり黄色がかっています。時間は何の躊躇もなく進んでくれ、次の季節の訪れを期待します。

施設では、毎月一回、夜間に、園内研修を行っています。事務、ヘルパー、医療、ケアマネジャー、ホームヘルパー、デイサービスとそれぞれの分野ごとに職員がテーマを持ち、一年積み重ねて勉強しています。実務に直結する内容である為、研究という面と実践という面を持ち、入所施設と在宅サービスとでお互いに普段見えない部分を知る事もでき、施設の中を共有する貴重な機会ともなっています。興味深いと思うのは、職員が話し合って決めたテーマに沿って進んで行きますが、その過程と結論は、お年寄りや障がい者への介護や関わりの中で、一人ひとりに対する観察とケアの中身が中心となっていくことです。私たちのこの福祉の関わりは、ご利用者から教えられることが中心であるということ、毎日の仕事の中で自然に身につけていくからだと思ひます。また、環境を整える事も大事です。それは直接介護の後方支援と言つても良いでしょう。安定した環境がなければ、高度な取り組みはできません。相談支援の技術を磨くという事も福祉的には環境の一要素であり、ケアにつながる事柄です。季節は変わつて行きますが、ご利用者を中心に見据え、ぶれないで一人の方を大切にすることを継続していききたいと思ひます。

七月のボランティアと実習生

山田国昭様 矢花光様 白馬忠様 牧野和子様
山田千恵様 佐藤ゆう子様 風見とみ子様 協力牧師の方々
東京基督教大学実習生
職場体験ブラジル人小学生1年生・2年生の皆さん

いつも暑い働きありがとうございます

家族と共に


日時

九月十七日(月) 祝日
十一時～十五時三十分

当日の予定

- ★ 家族懇談会
- ★ 食事会
- ★ アトラクシオン

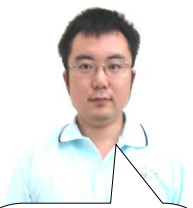
ご家族様のお越しを心よりお待ちしております



昨年の食事会の様子

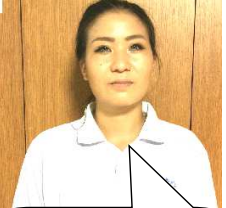
新規採用ヘルパー紹介

熱い汀 介護ヘルパー 岡野太幸



精一杯頑張ります！

熱い汀 介護ヘルパー 高橋希夢



一生懸命頑張ります！

編集後記

まだまだ暑い日が続きますが、体調に気を付けてお過ごしください。

ヘルパー 役野・稲葉

相談員日誌 野田 望

小さな命

昨年の夏に知人からカブト虫を何匹か貰った。子供達と飼育用の土や餌を買って楽しみながら育てた。天気の良い日はケースを掃除したり、土が乾燥しないように、一日一回霧吹きで水を吹きかけた。以上手間をかけた分、可愛く見えるから不思議だった。

夏の終わりに少しづつカブト虫が減つていくと、子供達も淋しそうだったが、メスが卵を四十個ほど産卵していた。子供達と、この小さな命をどう育てる事か話して合意する事となった。

もちろん初体験の私は本を読んだり、男性職員から飼育の要点などを情報収集した。

昨秋から今春にかけて土の交換を数回繰り返して二十四匹の幼虫が順調に育つた。

そしてついに六月。十八匹のカブト虫が成虫となった。夕日を浴びたカブト虫は宝石のように赤茶色に輝いていた。子供達と小さな命の輝きを感じた瞬間であった。

機関紙ほえみの記事は、筑波キングスガーデン個人情報保護方針に基づき、了解を頂いた上で掲載させて頂いております。